

## 有限会社永峰養豚場

5日間×畜産業×都城市

スタッフ全員が「みなさまの健康と日本の食卓を守り支える」をモットーに、いつもの食卓に並ぶ美味しい豚肉を提供しています。豚はもちろん、働くスタッフや自然環境にも優しい養豚場づくりを日々目指します。

- ◆業種：製造業 ◆事業内容：農畜産業、養豚一貫生産
- ◆設立年：1998年 ◆規模：17人 ◆所在地：宮崎県都城市安久町3547

今が始めドキ！農業に新たに興味を持った学生を  
インターンシップで繋ぐ！

SNSで不意に情報を得る時代だから  
こそ、新たに興味を持った学生を想定  
するという考え方に納得しました！



### インターンシップの概要について

#### Q1 インターンの実施目的は何ですか？

- ☒ 認知拡大 ☐ 事業成長 ☐ 社員への刺激
- ☒ 採用活動の一環 ☐ ミスマッチ防止 ☐ 社会・地域貢献

#### Q2 インターンの実施期間・内容を教えて下さい

期間：5日間

繁殖・飼育・出荷・衛生管理など養豚業の全工程を学び、命を扱う仕事の責任とやりがいを実感してもらう。

##### 1日目 オリエンテーション

会社・事業の説明、業界の現状や食料自給率について

##### 2日目 実務体験

交配・分娩・仔豚の3舎を周り給餌や豚のケアを体験

##### 3日目 実務体験、視察

肥育舎で出荷や健康観察を体験し、関連会社や屠畜場を視察

##### 4日目 実務体験、会議参加

獣医師と農場を巡回し健康管理等を学ぶ、生産管理会議へ参加

##### 5日目 まとめ、発表

学んだことや気付いたこと、会社の課題とその解決について発表



大学生の他に、高校生の  
受け入れも行います。



#### Q3 学生集めに活用した方法は？

- ・宮崎クエスト ・みやざきインターンシップNAVI
- ・中小企業家同友会共同求人 ・教授からの推薦

#### Q4 費用負担は？

(遠方学生対象)昼食代、宿泊費・交通費

#### Q5 インターンのポイントを3つ教えてください

##### 1 インターンシップで後輩を教育する力を磨く

弊社含め、新卒採用が毎年ある会社は少なく、**社員が後輩を指導する経験が不足しがち**です。だからこそ、インターンシップを通じて学生に教える経験ができることは、社員にとって重要な機会となります。

##### 2 SNSが流行っている今が会社にとっては大チャンス！

**SNSによって、学生は偶発的に様々な業種・業界の情報を認識しやすい環境です。**畜産分野以外の学生にも偶然興味を持ってもらえるチャンスが豊富にあり、そこからインターンシップへのニーズも高まっています。

##### 3 インターンシップは将来への種まき、芽が出るのは数年後

インターンシップは**5年、10年と続けてやってみて初めて新卒採用に繋がると**考えています。長く継続していかないと効果には結びつきにくいと思うため、すぐに採用に繋がらずとも数年かけて続けていくべきです。

#### Q6 工夫・苦労した点を教えてください。

「やってみたい」という意欲はあったものの、当初はプログラム作成に苦労しました。インターンシップコーディネーターによる手厚いフォローのおかげで、無事実行に移せました。プログラム作りでは、豚の生産から食肉加工、そして出荷に至る全工程を見せることにこだわりましたが、自社のみでの実現は難しかったため、関連会社にもご協力をいただきました。**自社だけで完結させようとせず、様々な人や会社と協力・依頼し、役割分担して**進めていくことが大事です。



#### Q7 効果・成果はなにかありますか？



現時点では直接採用に結びついた実績はありませんが、過去に参加した学生からの評判により、大学の教授が別の学生に弊社のプログラムを推薦くださるなど、新たな学生の受け入れへと繋がった事例があります。

新卒での採用には至らなくとも、他社を経験した後で「こんな会社もあったな」と思い出してもらえたら良いと思っています。インターンシップによって**「ゼロ」ではない様々な可能性**が広がり、人と人が繋がりました。この繋がりが、ゆくゆくは採用や定着に結びついてくれることを期待しています。また、学生が来ることで職場の雰囲気が良い方向に変わるため、社員も学生の受け入れをいつも楽しみにしてくれています。

### 担当者・参加者の声

#### 代表取締役 永峰様

大変ではありますが、認知度向上に繋がる活動は、インターンシップに限らず、積極的に行うべきだと思います。学生の考えを知る機会となるため、ぜひ取り組んでいただきたいです。**全ての人が大学の専攻を仕事にする訳ではないため、農業専攻以外の学生も受け入れ、キャリアの新たな選択肢になれるよう働きかけていきます。**



#### 学生の声

動物に関わる仕事がしたくて応募しましたが、繁殖や出荷などの工程を体験する中で、働くことの大変さと命を扱う責任の重さを実感しました。出荷までの全部の工程を体験させていただいたので、畜産業の現場について広く深く「リアル」に知ることができました。



## フェニックスリゾート株式会社 5日間×ホテル×宮崎市

太平洋沿いの広大な黒松林に囲まれた雄大なロケーションの中に宿泊施設をはじめ、豊かな自然環境を活かした多彩なアクティビティを揃えています。「感動体験を創造し続け、お客さまを元気にする」という使命を掲げ、ブランドスローガン「人生のご馳走を味わう、日本でいちばん“おいしい”リゾートへ。」のもと、宮崎そしてシーガイアだからこそ叶う、非日常を味わう極上のリゾート体験を提供し続けています。

◆業種：宿泊業、レジャーサービス業、飲食業 ◆事業内容：ホテル、ゴルフ場、レジャー施設等複合リゾート施設の開発・運営  
◆設立年：1988年 ◆規模：780名 ◆所在地：宮崎県宮崎市山崎町浜山415番地97

実施して終わりじゃない。事業・次年度プログラム  
認知向上などあらゆる“次”に繋げる仕組みづくり！

学生の声を新規事業や、プログラムの  
効果検証に活用するなど、次の活動  
に繋げる工夫が沢山あります。



## インターンシップの概要について

## Q1 インターンの実施目的は何ですか？

- ☒ 認知拡大 ☒ 事業成長 ☐ 社員への刺激  
☒ 採用活動の一環 ☒ ミスマッチ防止 ☐ 社会・地域貢献

## Q2 インターンの実施期間・内容を教えてください

期間：5日間

インターンシップを通じて、経営理念「感動体験を創造し続け、お客さまを元気にする」へ繋がる各部署の取組を感じてもらおう。

## 1日目 会社説明・業務体験

会社説明と昼食交流会、館内見学、ベッドメイクの体験

## 2日目 講話、業務体験

ホテル接客講話、接客体験

## 3日目 講話、バスツアー

レストランサービスについての講話と各施設を見学するバスツアー

## 4日目 講話、業務体験

先輩スタッフの経験談、客室清掃・客室作り体験

## 5日目 振り返りワークショップ

これまでの研修を踏まえ、3時間で新たな企画を考え、発表



1日間、2日間のプログラムも行います。



## Q3 学生集めに活用した方法は？

・マイナビ ・みやざきインターンシップNAVI

## Q4 費用負担は？

長期の受け入れ時は、アルバイト登録することで、学生に有償インターンシップとして提供する場合や、食事費用一部負担などの場合あり

## Q5 インターンのポイントを3つ教えてください

## 1 採用活動を専門にした部署を設置

弊社は、人事部の中に「採用課」を設置し、インターンシップを含む採用活動に注力できる体制を作っています。

## 2 お客様へのホスピタリティを学生に対して発揮！

お客様の「ありがとう」を励みにする社員のホスピタリティが、学生に対しても発揮され、各社員が採用課の依頼以上に手厚い学生対応を行っています。

## 3 振り返り発表は学生と企業双方にとって必須！

プログラム終盤の発表は、学生が学びを振り返る場であると同時に、企業側が「意図した内容が学生に適切に伝わったか」を確認する重要な検証機会です。  
毎回効果検証し、次の受け入れに活かすことが大事です。

## Q6 工夫・苦労した点を教えてください。

繁忙期などスタッフの時間調整に苦労することもあります。採用課スタッフが予め、会社全体の説明や体験先の部署がどんな役割でどのような仕事をするのか等説明することで、スムーズに業務体験に入れるようにしています。また、多くの部署がある中体験いただける業務が限られる分、講話や敷地内のバスツアーなどを行い、できる限り多くの部署や施設について学生が学べるよう工夫を凝らしました。



## Q7 効果・成果はなにかありますか？



インターンシップをきっかけに、採用に繋がるケースもあります。採用面以外でも、学生の感想は、ホスピタリティの高い社員のモチベーション向上に繋がり、学生への説明を通じて各自の業務を見直すなど、仕事の魅力を再認識する効果も得られました。

また、学生からのサービスの改善提案や、最終日に学生が発表する企画案を企画改善の参考にしています。学生の意見を聞くことは、検討中の企画に確信を与え、自信をもって推進する後押しにもなりました。さらに、働く目線で弊社を知っていただくことはシーガイアとしての認知向上にも繋がると考えています。

## 担当者・参加者の声

## 採用課 河野様

実施にはコストや労力、社内連携が不可欠ですが、優秀な人材の早期確保や入社後のミスマッチ防止といった大きな効果が期待できます。また、スタッフにとっては自らの仕事の魅力を再認識する機会となり、社内スタッフの育成にも大きな効果を感じています。是非、自社に最適な形式とコンテンツで取り組んで欲しいと思います。



## 学生の声

体験前は自分の強みに自信がなく、体験業務がしっかりとできるか不安でした。しかし、社員の方々のサポートや声掛けのおかげでできることが増え、自信とやる気が高まりもっと多くの仕事に挑戦したいと思うようになりました。接客の大切さや感謝される喜び、仲間の大切さをこの会社で学んだことで、ここに入社したいと思いました。





## 株式会社ワン・ステップ

5日間×サービス業×宮崎市

地域のお祭りやイベントでエア遊具を使った企画・運営を行い、現地で多くのお客様の声を反映しながら事業を進めています。豊富な遊具やイベントツールを保有しており、レンタルにも対応する他、オリジナル遊具の企画も行います。オリジナル遊具を作る会社は少ないからこそ、より面白いもの作りに取り組んでいます。

- ◆業種：複合サービス業 ◆事業内容：イベント遊具企画・レンタル・販売、防災・医療関連機器の開発・販売など  
◆設立年：2002年 ◆規模：37人 ◆所在地：宮崎県宮崎市清武町今泉甲4625-1

学生は一人の即戦力！社員の通常業務の一環に  
そのまま入り込む超実務型インターンシップ！

学生をお客さん扱いせず、即戦力  
として社員と同等の業務を経験してもらう  
仕組みづくりが参考になります。



## インターンシップの概要について

## Q1 インターンの実施目的は何ですか？

- ☒ 認知拡大 ☐ 事業成長 ☐ 社員への刺激  
☒ 採用活動の一環 ☒ ミスマッチ防止 ☒ 社会・地域貢献

## Q2 インターンの実施期間・内容を教えてください

期間：5日間

商業施設やイベントの企画・準備・運営を体験し、チームで創り上げる仕事のやりがいを学ぶ。

## 1日目 オリエンテーション

会社理解を深め、イベント運営の基本の流れや考え方を学ぶ

## 2日目 実務体験

商品チェック、広報、営業資料作成などの実務を経験

## 3日目 会議参加、企画提案①

企画提案会議に参加し、学生独自のアイデアを提案

## 4日目 調査、分析

社員ヒアリング、類似商品調査等を行い企画の実用性を調査・分析

## 5日目 企画提案②

調査・分析を元に企画をブラッシュアップし、企画採用会議で提案



その他、2週間、1か月など学生のニーズに応じて期間も設定しています。



## Q3 学生集めに活用した方法は？

- ・みやざきインターンシップNAVI
- ・オファーボックス(会社からのスカウト)
- ・Wantedly(共感採用型ビジネスSNS)

## Q4 費用負担は？

交通費(一部支給) / 報償(成果・貢献度に応じる)

## Q5 インターンのポイントを3つ教えてください

## 1 インターンシップで実務を経験！

特別に課題を作るのではなく、**社員の日常業務に学生がそのまま加わる形**を採用しています。社員はいつもと同じ業務をするため、負担が少なく学生のアイデアなどから自身の仕事のヒントも得られます。

## 2 学生を一人の戦力として評価

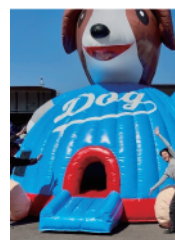
実務体験だからこそ、社員と同じように業務にもコミットしてもらいます。学生は即戦力として活躍できるスキルを磨くことができ、会社としての成果や業務の負担軽減に繋がれば、**社員同様に評価し、報償を与えます。**

## 3 寄り添う姿勢が信頼と成長を生む

社長をはじめ社員が学生一人ひとりと丁寧に向き合い、振り返りを毎日実施しています。学生はお金目的のアルバイトではないので、途中で内容や目標を変更してでも**学生の"学び"が達成されるよう真摯に対応**します。

## Q6 工夫・苦労した点を教えてください。

イベント業界は繁忙期とインターンシップ希望時期が重なり、社員の負担も大きくなりがちでした。そのため、社長自らが先頭に立ち、社員に理解を促しながら体制作りを進めました。  
また、学生が実際の業務を担うことで、**社員の業務効率化にも繋がる仕組み**を整備しました。学生の希望や目的を丁寧にヒアリングし、内容を柔軟に調整することで、双方にとって学びと成果が得られる環境を構築しました。



## Q7 効果・成果はなにかありますか？



インターンシップを通じて、学生の新しい視点が社内に刺激を与え、業務改善や発想の幅を広げる効果がありました。学生の提案から新しい商品や企画が生まれることもあり、社内のコミュニケーション活性化にも繋がっています。特に、学生との日々の振り返りや対話を通して、社員が自分の仕事を見つめ直す機会が増え、**働く姿勢にも良い変化**が生まれています。  
採用面では、インターンシップを経験した学生が入社した実績があります。入社後の実務と同等の経験をし、多くの社員と密接に関わるため、学生の会社理解度や仕事理解度が高く、入社後もスムーズに会社に馴染むことができ、ミスマッチを防ぎ、定着率を高めることにも寄与しています。

## 担当者・参加者の声

## 代表取締役社長 山元様

インターンシップは大変な部分もありますが、やってみると**採用以外にも多くの成果**があります。学生と接することで自分たちの考え方を直す機会になり、社員の成長にもつながっています。業務の間でも工夫次第で実施できることは多く、**まずは一歩踏み出すことが大切**だと感じています。

## 学生の声

仕事内容に魅力を感じ、参加しました。合計30社以上のインターンシップに参加しましたが、ここが一番楽しく働けそうだったので入社を決意しました。仕事内容にも興味はありましたが、インターンシップに参加したことで**「人」の魅力も強く感じ、入社後の今も楽しく働いています。**



## かわさき屋株式会社

1か月×製造業×綾町

かわさき屋は宮崎の資源を全国へ届ける地域商社です。良質なもののづくりを地元の皆さんと協力し、「ヒット」を中心に新たな価値を創出。宮崎と全国をつなぐハブとして、素晴らしいプロダクツやサービスを発信し、地域の発展に貢献していきます。

- ◆業種：製造業 ◆事業内容：農産物の生産・販売、農産加工品の販売、業務用商品の生産、及び販売
- ◆設立年：2012年 ◆規模：20人 ◆所在地：宮崎県東諸県郡綾町大字北俣4567番地1

会社の成長に欠かせないインターンシップの存在。  
学生目線と中長期目線の2つの目線が大事！

徹底した学生への寄り添いと、短期ではなく長期で成果を捉える姿勢が印象的でした！



### インターンシップの概要について

#### Q1 インターンの実施目的は何ですか？

- ☒ 認知拡大 ☒ 事業成長 ☒ 社員への刺激
- ☐ 採用活動の一環 ☐ ミスマッチ防止 ☒ 社会・地域貢献

#### Q2 インターンの実施期間・内容を教えてください

期間：1か月

会社・商品PRについてSNS投稿や現地販売など週毎に異なる活動を通じて実践的に学び、考える。

##### 1週間目 プロモーション活動

自社商品を使ったレシピの考案、動画制作、Instagram投稿

##### 2週間目 店頭販売

小売店の店頭でPR販売を行い顧客の声を収集・分析

##### 3週間目 展示会同席

販路拡大・PR目的の食品展示商談会に同席し社長のサポート

##### 4週間目 まとめ

直接社長に対して成果報告、企業のPR方法についてプレゼン



その他、1日間、3日間、1週間、3か月のプログラムも行います。



#### Q3 学生集めに活用した方法は？

- ・宮崎大学地域資源創成学部の授業インターンシップ
- ・宮崎県工業技術センターからの紹介
- ・みやざきインターンシップNAVI

#### Q4 費用負担は？

業務内で発生する交通費

#### Q5 インターンのポイントを3つ教えてください

##### 1 じわじわ効いてくる"漢方"のようなもの！

受け入れを続けてきたおかげで社内に若者を受け入れる雰囲気にならずに変化し、新卒採用に繋がりました。即効性がなくとも、漢方のように徐々に社内の体質改善に繋がるため、**会社の中長期的な成長には欠かせません。**

##### 2 学生目線のプログラム作り

多くの会社がインターンシップを行っている中で、会社目線のプログラムでは学生に選ばれません。変化していく学生のニーズに寄り添い、**学生が求めるもの、行きたい会社とは何かを考えたプログラム作り**が必要です。

##### 3 長期的視野に立った先行投資！

長い目で見た将来の人材育成のビジョンをしっかりと固めて取り組めば、インターンシップにおける**費用や業務の増加は負担感ではなく「先行投資」となり、社内でも受け入れてもらえるようになります。**

#### Q6 工夫・苦労した点を教えてください。

学生の気持ちに寄り添うことを重視し、大学イベントの際に直接学生から「働くことへの不安」を聞き、内容を学生目線に変更しました。入社前提で参加する学生は少ないからこそ、**不安に共感する姿勢**が大切です。参加学生確保は苦戦しましたが、イベントへの参加やインターンシップNAVIへの掲載など広報を継続した結果、弊社の情報を見た宮崎県工業技術センターからの学生紹介もありました。インターンシップはまず**広報活動で認知を広げることが重要**です。



#### Q7 効果・成果はなにかありますか？



インターンシップからの採用実績はありませんが、**学生間で共有される口コミや知名度が向上し、採用に繋がった経験**があります。インターンシップ継続により、新卒採用への抵抗感も薄れています。実施前は30代以上の社員が多く、新卒を含め20代以下の若手が入りにくい雰囲気でしたが、学生受け入れを継続することで社内が明るくなり、20代の中途採用にも繋がりました。また、社員は学生への指導を通して自身の理解度を見直し、学生の店頭での販売実績に刺激を受けて成長意欲が高まるなどの効果も見られます。**インターンシップは中長期的に社内の意識改革と企業改善を促す役割を果たしています。**

特集2  
経営者の声  
P.9



代表取締役 川崎様

採用のみを前提としたインターンシップだと、なかなか成果に繋がらないケースもあると思われます。学生ニーズに寄り添ったプログラムを行い、自社のためだけでなく、**県内企業で一体となって目的や足並みを揃えることが、県内企業の中長期の成長のために必要だ**と思います。

### 担当者・参加者の声



学生の声

プログラム内容が明確で社長から事前に説明もあったので、**イメージや心構えがしやすかった**です。やりたいことがない中で、「働くこと」や業界について幅広く学びたいと思い応募しました。社長や社員さんが付きっきりで進めてくれて、暗い・辛いといった働くイメージが楽しくアットホームなイメージに変わりました。



## 株式会社SUNAO製薬

1か月×製造業×宮崎市

「子どもたちに誇れる仕事をして、宮崎で従業員1,000人・売上1,000億円・平均年収800万円を実現する。」を目指し、廃棄等の『勿体無い地域資源』に着目して付加価値をつけ地域資源の新たな可能性を追求し続けています。商品の製造からデザイン、販売方法までワンストップでお客様の多様なニーズに対応します。

- ◆業種：製造業、小売業 ◆事業内容：医薬部外品・化粧品・健康食品等の製造、研究、開発及び販売  
◆設立年：2011年 ◆規模：28人 ◆所在地：宮崎県宮崎市川原町6番21号



TikTokで集客爆増！  
双方向のコミュニケーションで県外学生も誘致！

SNSの活用方法が抜群で、短期間で  
高い実績を誇っていて凄いです！



## インターンシップの概要について

## Q1 インターンの実施目的は何ですか？

- ☒ 認知拡大 ☒ 事業成長 ☐ 社員への刺激  
☒ 採用活動の一環 ☐ ミスマッチ防止 ☐ 社会・地域貢献

## Q2 インターンの実施期間・内容を教えてください

期間：1か月

複数部署での業務体験を通じ、新商品開発や課題解決に取り組む。

## 1週間目 会社を知る

会社説明、社長講話を通じ、企業理念と全体の流れを理解

## 2週間目 各部署見学・体験

商品開発、OEMの部署を見学、体験

## 3週間目 マーケティング実践

通販、マーケティングの部署でSNSマーケティングについて実践

## 4週間目 プレゼン発表

各部署の体験を踏まえた新商品アイデアプレゼン、フィードバック



その他、5日間のプログラムも行います。



## Q3 学生集めに活用した方法は？

- ・SNS(TikTok)
- ・みやざきインターンシップNAVI
- ・大学教授からの推薦

## Q4 費用負担は？

初日のランチ費用

## Q5 インターンのポイントを3つ教えてください

## 1 現場に負担をかけないWIN-WINな関係作り

受け入れ部署の事前ヒアリングを行い、必要なものを準備し、無理のない細かなスケジュールを設計します。受け入れ部署の手が届いていない業務を学生に任せることでWIN-WINな関係づくりを心掛けています。

## 2 5日間以上にこだわる“濃密な学び”

自社の仕事や理念を時間をかけて学生に学んでもらうために、期間は5日間以上にこだわります。自社について深く理解してもらい、会社への愛着や好印象を持たせることが採用に繋がると考えています。

## 3 SNS×採用力で若手と繋がる！

TikTokで毎日配信を行い、会社の雰囲気をリアルに発信しています。コミュニケーションを重視した配信が好評で、フォロワーや見学学生の増加に繋がっています。人柄や社風をそのまま届ける採用活動が強みです。

## Q6 工夫・苦労した点を教えてください。

企画段階から現場担当者へのヒアリングを綿密に行い、実務を妨げないプログラムを設計しました。リアルタイムで社員全員に共有できるスケジュール表を制作することにより、現場の突発的な予定変更もフォローできました。社員の手が届いていない部分を学生に任せることで、双方にとって有益な“WIN-WIN”の仕組みを構築しています。学生数が多い場合は現場の負担も大きくなるため、チーム分けを行うなどの柔軟な対応も行っています。



## Q7 効果・成果はなにかありますか？



学生が会社のMVV(ミッション・ビジョン・バリュー)に深く共感し、そのまま入社に至るケースが複数生まれました。社長の熱意ある講話を通して、学生が企業理念を自分事として理解し、会社や社長の“ファン”となって入社する流れが定着しています。

実際に、1週間のインターンシップを1か月に延長し、その後アルバイト・内定へ進む例もあります。さらに、学生の提案から商品開発に繋がった事例もあり、現場のアイデア力やチーム連携が活性化しました。若手の発想を受け入れる社風が社内の柔軟性を高め、新しいコミュニケーションのきっかけにもなっています。

## 担当者・参加者の声

## 総務部 吉野様

学生の生の意見や考え方に直接触れられるのが一番の魅力です。普段の業務だけでは出会えない視点に気付かされ、自社のビジネスを見直す良いきっかけになっています。若い世代の率直な声を聞くことで、新しい発想や取組が生まれ、私たち社員にとっても大きな刺激と学びの時間になっています。



## 学生の声

1か月のプログラムで人との向き合い方について学びました。参加前に抱いていたインターンシップへのイメージと大きく違い、社員の方々がとても温かく、沢山の挑戦をさせてくれました。部署を越えて知識やアイデアを惜しみなく共有する姿が印象的で、その温かさと向上心ある社風に憧れて入社を決意しました。



## 耳川広域森林組合

1か月×林業×日向市

宮崎県を代表する河川の1つである「耳川流域」は、98%が民有林という全国でも珍しい地域です。耳川流域の民有林管理を担っている当組合は、伐ったら植える「林業サイクル」を持続させていく使命を持っています。山を守り育て次世代へつなぐ林業を確立するため、森づくり地域づくり・人づくりに取り組んでいます。

- ◆業種：林業 ◆事業内容：森林整備、木材加工、木材販売、技術研修、森林経営相談等  
◆設立年：2000年 ◆規模：259名 ◆所在地：宮崎県日向市東郷町山陰辛280番地1

インターンシップを通じて大きな地域課題の解決へ。  
学生と共に学び、共に考える！

林業の活性化という大きなテーマを  
掲げ、学生・職員・地域が一丸と  
なって考え、辛勞が印象的でした！



## インターンシップの概要について

## Q1 インターンの実施目的は何ですか？

- ☒ 認知拡大 ☐ 事業成長 ☐ 社員への刺激  
☒ 採用活動の一環 ☐ ミスマッチ防止 ☒ 社会・地域貢献

## Q2 インターンの実施期間・内容を教えてください

期間：1か月

林業の現場見学や地域調査、ツアー企画などを通じ、森林と地域の繋がりを学ぶ実践的な体験プログラムを行う。

## 1週間目 オリエンテーション

林業の基礎知識と安全講習、現場での作業見学

## 2週間目 情報収集・取材調査

地域課題に関する情報収集、自治体への取材

## 3週間目 企画立案・発表準備

調査をもとにツアーや提案内容を検討、成果発表の資料作成

## 4週間目 発表・振り返り

成果発表と意見交換、林業の未来を考える機会に



学生の都合に合わせて  
時期は都度調整しています。



## Q3 学生集めに活用した方法は？

- ・みやざきインターンシップNAVI  
・自社HP

## Q4 費用負担は？

宿泊費、朝食費、昼食費

## Q5 インターンのポイントを3つ教えてください

## 1 年度によって切り口を変える課題解決型プログラム！

インターンシッププログラムの大きなテーマとして、一貫して「林業の活性化」を設定しています。一方で、「Uターン」や「地域おこし協力隊」など切り口を変えることで、**毎年異なるアプローチを実現**しています。

## 2 地域全体で連携しながら"共に学ぶ"場作り

行政や地域団体、他会社にも協力してもらい、地域全体の課題に向き合ってもらいます。学生・職員・地域がチームとなり、お互いにフォローし合いながら取り組み、学生にとっても多くの学びを得る機会となっています。

## 3 林業専門外の学部・学生の学生にアプローチ！

農学部など林業に関する専門性が高い学部の学生は、林業や会社・組合について既に知識があります。敢えて専門外の学部の学生にアプローチすることで、**林業や組合の認知をより広げる**ことに繋がります。

## Q6 工夫・苦労した点を教えてください。

「林業の活性化」という、正解なき業界の重要テーマを毎回設定しているため、学生に任せきりにせず、職員も一緒に考える姿勢を大切にしました。また、学生が参加しやすいよう、既に成功した事例を深掘りする形など、**前向きなテーマ設定**を心掛けています。受入体制についても、宿泊場所の確保や送迎など、学生が安心して参加できるよう環境の整備にも注力しました。ただ、行政や他団体に協力いただく関係で、日程調整に苦労しました。



## Q7 効果・成果はなにかありますか？



直近では、林業分野以外の学部から4名の学生が参加し、**専門外の学生に林業を知ってもらう貴重な機会**となりました。この取組は、職員にも良い刺激となり、若い世代の考え方に触れることで、自分たちの仕事の魅力や今後の課題を見つめ直すきっかけになりました。

また、「教えたい」「支えたい」という意欲が職員間に自然に芽生え、職場のコミュニケーションが活発になりました。学生との対話は、職員が初心を思い出す機会となり、組織全体の活力向上にも寄与しています。結果として、インターンシップは、採用活動の一環に留まらず、組織の結束強化や対外的なイメージアップにも効果を発揮しています。

## 担当者の声・学生の様子

## 業務課 上杉様

学生を受け入れることで、自分たちの仕事の意味や魅力を改めて考える良い機会になりました。その意味や魅力を若い世代にもこれからアピールしていかなければならず、会社が継続していくためにもインターンシップに取り組む方が良いと思います。手段として広報にお金をかけるよりも効果があると思います。

参加学生は、「責任感の向上」「自己管理能力の向上」「業界理解の深化」の3つを自身の変化として感じられたそうです。





## 株式会社ハラケアシステム 1か月×福祉・まちづくり×三股町

宮崎県三股町を拠点に住宅型有料老人ホーム・デイサービス・訪問看護・居宅介護支援など総合的な高齢者ケアを提供し、人生に寄り添う支援を行います。施設内外のプロフェッショナルと連携し、利用者お一人おひとりにあった生活をご提案し、利用者と家族の安心を大切にしたい質の高いサービスを目指しています。

- ◆業種：福祉 ◆事業内容：老人ホームの運営、デイサービス、訪問看護、訪問介護、居宅介護支援など  
◆設立年：2015年 ◆規模：93人 ◆所在地：宮崎県北諸県郡三股町大字夢池3637-1

介護事業だけじゃない！視座を高め、会社経営や  
会社が目指す地域づくりについて学んでもらう！

学生の関心と満足度を高めるため、介護の枠を越え、経営や地域づくりも学べる設計に強いこだわりを感じました。



## インターンシップの概要について

## Q1 インターンの実施目的は何ですか？

- ☒ 認知拡大 ☐ 事業成長 ☐ 社員への刺激  
☒ 採用活動の一環 ☐ ミスマッチ防止 ☒ 社会・地域貢献

## Q2 インターンの実施期間・内容を教えてください

期間：1か月

介護の現場見学、地域の交流会、関係団体への訪問など社内外の活動を通じて地域の中で会社が目指す姿を学ぶ。

## 1週間目 企業説明、業務体験

社長講話、会社や介護職についての理解、デイサービスの見学

## 2週間目 社外団体訪問、業務体験

訪問看護や訪問介護の現場を見学・体験、社会福祉協議会を訪問

## 3週間目 地域活動、業務体験

地域イベントに地元中学生と参加、事務所業務の体験

## 4週間目 社外団体訪問、業務体験

三股町役場を訪問、広報誌作成を体験、施設のイベント体験



その他、5日間のプログラムも行います。



## Q3 学生集めに活用した方法は？

・大学の授業インターンシップ

## Q4 費用負担は？

昼食費(施設内で調理し提供)、交通費

## Q5 インターンのポイントを3つ教えてください

## 1 社内での活動だけでなく、地域全体で活動する

地域住民との交流会、地元中学生との町づくり活動への参加、社会福祉協議会や役場へ訪問します。弊社の事業は、**地域との関わりが不可欠**であるため、これらの活動を通して、**地域社会との交流・連携**を重視しています。

## 2 介護だけでなく、経営・地域づくりを学んでもらう

介護施設としての介護業務に加え、**地域貢献を目指す地場企業**として、経営や地域づくりを学ぶプログラムを設計しています。介護を専門に学ぶ学生以外にも、広く興味を持ってもらえるよう工夫しています。

## 3 社長と社員の役割分担で学生満足度の高いプログラム作り！

プログラム内容を若手社員が考え、外部との連携・調整を社長が担うことで、**学生のニーズを最大限反映できる体制**を作っています。その結果、受け入れ終了時に涙する学生がいるほどの満足度を実現しています。

## Q6 工夫・苦労した点を教えてください。

介護という専門性の高い職種であり、プログラム内容も充実していなかったため、インターンシップの合同説明会に参加した当初は、**学生に見向きもされませんでした**。その悔しさをバネに、学生と視線が近い若手社員2人を担当者に任命し、社長も加わりながら**時間をかけてプログラム作りに注力**しました。その結果、学生の参加が徐々に増え、評価も高まり、弊社の自信にも繋がりました。



## Q7 効果・成果はなにかありますか？



授業の一環としてインターンシップに来られた学生1名が採用に繋がりました。採用面以外では、インターンシッププログラムは新人教育プログラムの基礎となり、社員の学生受け入れ経験が新人教育に活かされる好循環が生まれました。相乗効果で、**プログラムと社員の教育スキル双方の質が高まっています**。

さらに、受け入れ学生が所属ゼミの教員に対し好意的な感想を共有してくれたおかげで、新たに教員との関係ができました。これを機に、大学での講義機会の獲得や認知拡大、また、教員による三股町をテーマとした研究にも発展するなど、受け入れをきっかけに多様な活動が生まれました。

## 担当者・参加者の声

## 代表取締役社長 原様

インターンシップは、**自社を変える最適な機会**です。募集から受け入れを通じ、自社の力不足を痛感し、自社の立ち位置に気づき、会社に変化・進化できます。新卒採用の有無に関わらず、「あわよくば採用に繋がれば良い」くらいの心持ちで、**会社の進化のために取り組むべきだ**と考えています。



## 学生の声

会社について調べたり、社長の講話を聞いたりして、積極的に地域活動をしていることを知り、福祉業界と地域貢献の両方に興味があったので参加しました。活動の中で、社長と職員の方々の距離の近さや会社の雰囲気にも惹かれました。複数部署の体験や地域行事参加など、沢山の経験ができた充実した1か月を送れました。



## 株式会社河北

1か月×建築・土木×都農町

株式会社河北は、昭和23年の創業以来、道や橋、建物など町に必要なあらゆるものを作ってきました。徹底した品質管理の高品質な生コンの製造や継承された建築・土木技術を通して、「住む人、使う人、関係する全ての人に安心と安全を。」それこそが、日々の暮らしを支え、未来に繋がるものづくりだと考えています。

- ◆業種：建築・土木 ◆事業内容：土木・建築請負業、舗装・水道施設工事、生コンの製造販売、不動産業  
◆設立年：1950年 ◆規模：50人 ◆所在地：宮崎県児湯郡都農町大字川北4884番



切り口を変えた学生募集！学生に魅力が伝わりにくい業界でも  
学生を集め、業界のことも知ってもらう技！

建設と他の領域を掛け合わせ、学生の興味を引き出し、建築についても学んでもらう仕立てが素晴らしいです。



## インターンシップの概要について

## Q1 インターンの実施目的は何ですか？

- ☒ 認知拡大 ☐ 事業成長 ☐ 社員への刺激  
☒ 採用活動の一環 ☒ ミスマッチ防止 ☒ 社会・地域貢献

## Q2 インターンの実施期間・内容を教えてください

期間：1か月

建設業の学生への魅力拡大を目的としたプロモーション活動の立案・実践。研修での学びと現場実践の両面から実施！

## 1週間目 オリエンテーション

スケジュール確認、ミッション確認



## 2週間目 研修、アンケート調査

プロモーション研修、現場見学・体験、アンケート調査

## 3週間目 研修、フィールドワーク

インタビュー研修、社外アンケート調査、合同企業説明会への同行

## 4週間目 まとめ

プロモーション研修、現場見学・体験、アンケート調査



プログラム前に、個別の事前面談を行います。



## Q3 学生集めに活用した方法は？

- ・みやざきインターンシップNAVI ・リクナビ  
・大学の授業インターンシップ

## Q4 費用負担は？

宿泊費(独身寮の提供)、交通費

## Q5 インターンのポイントを3つ教えてください

## 1 自社に足りない部分は外部との協力で補う！

プロモーション活動をテーマとするにあたり、弊社はノウハウが不足していました。そこで、**プロモーション理論の座学を外部講師へ依頼し**、実践部分を社内で行う設計にすることで、4週間のプログラムを実現しました。

## 2 「新たな切り口×建設」で参加学生の確保と会社理解の両立

近年、建設業界は学生にとって人気が低迷しています。興味を持ってもらうため、ドローン・DX、プロモーションなど、**学生が親しみやすい領域を切り口**に、建設業界についても学んでもらう設計を行いました。

## 3 地元スポーツクラブと連携した相互支援の関係づくり

地元のサッカークラブと連携協定を結んでおり、毎年、クラブから複数人の学生を受け入れています。これは、**クラブに所属する選手たちのキャリア支援**の一環として、将来の選択肢を広げる目的で実施しています。

## Q6 工夫・苦労した点を教えてください。

外部講師との協働ゆえに、講師と弊社担当で、学生へのフィードバックにギャップが生じ、担当業務の線引きにも苦労しました。しかし、その都度すり合わせを行い、関係者間の認識を揃えることで乗り越えました。  
また、**学生の精神的フォロー**を最優先してきました。不慣れな活動に加え、自宅外での生活による心身の負担を考慮し、学生に合わせて活動内容の変更や、活動拠点の変更など、学生の気持ちを優先したきめ細かな対応を行いました。



## Q7 効果・成果はなにかありますか？



弊社が抱えていた「学生からの認知不足」や「建設業へのイメージギャップ」といった課題がより具体的になり、**学生から見た弊社の立ち位置が浮き彫り**になりました。これを機に、採用戦略の見直しが進むきっかけになり、SNS発信やバス広告など、新しいプロモーション施策の検討が活発になりました。

また、これまで後回しにされがちだった**社内の新卒採用への意識が向上し**、新卒採用専門の人員配置の検討も始まっています。当初は、学生との接し方に戸惑っていた現場社員も徐々に交流に慣れ、新卒採用に会社全体で取り組んでいくための追い風となりました。

## 担当者・参加者の声

## 管理部 赤木様

年々学生の動きが早まり、インターンシップを経て採用に至るケースも増えており、**インターンシップが新卒採用の出発点になりつつある**と感じます。早く取り組むほどノウハウも蓄積されるため、積極的に取り組むべきです。また、近年は入社後のギャップによる離職も多く、短時間でも会社に触れてもらう機会の提供が重要です。

## 学生の声

会社名は知っていましたが、中身については知らないことが多かったと気付きました。また、自分で調べただけでは得られなかった会社情報を、プログラムを通して学べました。特に、建設で働くやり甲斐や、建設系の資格や勉強がなくても働くことができると知り、驚きと同時に**自身の将来の選択肢が1つ増えました**。





## 特定非営利活動法人りいやん 1か月×子育て支援NPO×日南市

日南市の子育て支援センター「ことごと」を運営しています。りいやんの語源はフランス語で「人との繋がり」「絆」という意味のあるリヤンという言葉です。それに「いいやん♪」を掛け合わせて「りいやん」としました。それおもしろそう！いいやん♪というんな世代やいろんな人達が繋がっていったらいいなと思います。

- ◆業種：NPO法人りいやん ◆事業内容：子どもの健全育成を図る活動、保健・医療又は福祉の増進を図る活動等
- ◆設立年：2023年 ◆規模：14人 ◆所在地：宮崎県日南市大字星倉1897番地3

NPOでも保育施設でもインターンシップはできる！  
学生の力が会社・人・地域を変える！

資格が必要な職種で採用への直結は難しい中、事業所・学生・地域の為にという想いが素敵でした！



### インターンシップの概要について

#### Q1 インターンの実施目的は何ですか？

- ☒ 認知拡大 ☒ 事業成長 ☒ 社員への刺激
- ☐ 採用活動の一環 ☐ ミスマッチ防止 ☒ 社会・地域貢献

#### Q2 インターンの実施期間・内容を教えてください

期間：1か月

子育て支援の現場と密接な関わりを持つ地元地域と連携し、子育て応援イベントを企画する。

##### 1週間目 オリエンテーション

事業説明、企画立案のための地域住民へのヒアリングシートの作成

##### 2週間目 ヒアリング調査

作成したヒアリングシートを元に地域住民へヒアリング調査

##### 3週間目 集計・分析、中間プレゼン

ヒアリング結果を踏まえ、どんなイベントを行うか中間の企画発表

##### 4週間目 再検討、最終プレゼン

中間発表のフィードバックを元に再検討し最終プレゼン



後日、インターンシップ後に実際に企画したイベントを行います。



#### Q3 学生集めに活用した方法は？

- ・大学の授業インターンシップとの連携
- ・地域留学プログラム「ヤッチャの学校」

#### Q4 費用負担は？

交通費、食費

#### Q5 インターンのポイントを3つ教えてください

##### 1 職員全員で学生をフォロー

日常業務ではお子さん毎に担当者をつけるのではなく、職員全員が目度全体的なお子さんの面倒を見ています。その経験を活かし、担当者だけが学生対応するのではなく、**職員全員で学生全員のフォロー**を行って来ました。

##### 2 施設利用者の声をプログラム課題設定のヒントに！

課題設定に悩んでいたとき、「オススメの飲食店」を施設利用者からよく聞かれる事にヒントを得て、ランチマップ作成の課題を作りました。その結果、地域や利用者の皆さんにも学生の成果を還元できました。

##### 3 インターンシップ内の課題を期間外までやりきる！

1か月でヒアリングから立案まで実施したものの、イベント日はプログラム終了後でした。しかし、考えて終わりではなく最後までやり切ることが重要と考え、イベント当日まで完遂することで達成感を得てもらいました。

#### Q6 工夫・苦労した点を教えてください。

事務所では電子機器を使わず、PC作業は別の場所で行う必要があり、学生との関わりが減るという課題がありました。できるだけ多く対話の時間を捻出するために、朝礼や、週の初めに前週の振り返りの時間を設けました。学生に対して**会社側から歩み寄り、心を開く姿勢**が学生との距離を縮めるためには大事です。保育実習と違い、インターンシップの場合は通常業務を経験してもらえないため、次回以降は、より実務的な体験を提供できるよう工夫を重ねます。



#### Q7 効果・成果はなにかありますか？



学生の受け入れは、職員にとって通常の業務だけでは得られない貴重な経験となり、事業所運営に活きる新たな経験値が蓄積されました。また、学生の視点を生かした企画や、若者ならではのアイデアをもとにしたSNS発信、職員だけで行うよりも当事業所の良さを地域へ広める効果がありました。加えて、参加学生からは「自分の子供ができれば連れてきたい」という声もいただくなど、嬉しい反応もありました。専門性の高い職種のため即採用は難しいものの、当事業所や日南の魅力が伝わることで、**将来的な保育への興味喚起、日南へのUターン、また当事業所利用への貢献につながることを期待しています。**

### 担当者・参加者の声



理事長 森山様

経験ゼロからのスタートで不安でしたが、保育系NPOの私たちでも実施できたことから、**業種を問わず、どの会社様でも実現可能**だと思います。すぐに採用に繋がらずとも、経験は何一つ無駄にはなりません。まずは「**試しに一度やってみる**」という姿勢が重要ですので、行動を起こしてみたいはいかがでしょうか。



学生の声

地域の子育て問題に関心があり、参加しました。地域の方々のニーズを直に知ることができ、NPO法人の役割についても理解することができました。学生の意向や主体性を重視するプログラムを作ってください、充実した活動の中で人と人との繋がりの大切さを学ぶことができました。

## 株式会社ことろど

1か月×サービス×日南市

株式会社ことろどは、地域資源をつなぎ新たな価値を創造することで、ローカルの新たな未来を提示します。宿泊施設の運営や地域プロジェクトの企画・推進、採用支援など多様な事業を通じて、地域の持続的な発展に貢献し、日南を拠点に、社会を驚かせるローカルの未来を描き続けていきます。

- ◆業種：複合サービス業 ◆事業内容：宿泊施設の運営、飲食店、採用支援、イベント企画、簡易郵便局事業など  
◆設立年：2018年 ◆規模：15人 ◆所在地：宮崎県日南市岩崎2丁目4-21



学生をお客様扱いしない！

学生を一戦力として捉えることで、想像以上の力を発揮させる

学生の限界を決めず、事業の一員として高いレベルを求め、学生と企業が共に成長する姿が印象的でした。



## インターンシップの概要について

## Q1 インターンの実施目的は何ですか？

- ☒ 認知拡大 ☒ 事業成長 ☐ 社員への刺激  
☐ 採用活動の一環 ☐ ミスマッチ防止 ☐ 社会・地域貢献

## Q2 インターンの実施期間・内容を教えてください

期間：1か月

自社経営の飲食店において、小学生を対象とした地域への愛着を感じてもらうためのイベントを企画・運営

## 1週間目 オリエンテーション、業務体験

会社説明、店舗説明、地域理解、飲食店での業務体験

## 2週間目 イベント企画

イベントの考案、中間プレゼン

## 3週間目 イベント準備

中間プレゼン後のイベント企画の再検討、最終プレゼン

## 4週間目 イベント運営、成果発表

自身で企画したイベントの当日運営、成果発表



その他、業務委託の形で、長期受け入れも行います。



## Q3 学生集めに活用した方法は？

- ・みやざきインターンシップNAVI  
・大学のインターンシップ科目

## Q4 費用負担は？

交通費、宿泊費(自社で経営する宿泊施設を社員割引で提供)

## Q5 インターンのポイントを3つ教えてください

## 1 学生は新戦力！事業の一角を担ってもらい、実務を遂行してもらう

新事業など、企業として着手したいものの、社員不足で手が届いていない業務を、学生の力で推進してもらいます。単なる体験ではなく、**学生を会社の一戦力とみなし、実際の事業の一部を任せる取組**です。

## 2 学生のために、時には厳しい意見も伝える

学生にはゴールと評価基準を明確に示し、到達できていない場合にはその旨を伝えます。  
長期プログラムだからこそ、**中だるみを防ぐ声掛けが必要**であり、何よりも学生の成長のために、厳しい意見も臆さず伝えます。

## 3 3つの支援が、学生のスムーズで高品質な活動を支える

学生の支援には、「**業務支援**」「**精神支援**」「**内省支援**」の3つが必要だと考えています。このうち「精神支援」には、学生と年齢の近い若手社員を配属し、学生と若手社員の両方が共に成長する機会を創出しています。

## Q6 工夫・苦労した点を教えてください。

新事業や実務の一部を学生に任せるにあたっては、学生の特性を見極めて業務内容を柔軟に変更すること、ミッションの抽象度を高く設定して具体的な業務を変更可能にしておくこと、**社員が最終的に責任を持つ覚悟があること**の3つが重要です。  
これらを意識してきたことで、学生に新事業を任せることへの不安もなく、学生を一戦力として迎え入れることができました。



## Q7 効果・成果はなにかありますか？



インターンシップからは、1名の新卒採用実績があり、この学生はプログラム終了後も期間延長を経て入社しました。また、現在も1名の学生がインターンシップ終了後も業務委託の形で継続的に弊社と関わってくれています。

採用に繋がらない場合でも、これまでに参加してくれた学生とのコミュニティがイベント集客などに活用され、**学生の力をお借りする場面**があります。さらに、弊社以外の企業に入社した学生との当時の繋がりが事業に結びつくケースもあります。  
このほかにも、後輩のいない若手社員にとっては、仕事を教える経験の場になるなど、**採用以外の多くの場面でインターンシップの受け入れ経験が活かされています。**

## 担当者・参加者の声

LHR事業部 森山様

学生の持つ力は企業が思っている以上に大きいです。ミッションの作り方や伝え方、支援の仕方を工夫することで、企業側が「学生だからこれくらいの仕事だろう」と想定している以上の力を発揮してくれます。**学生をお客様ではなくメンバーとして迎え入れること**で、企業にも学生にもより多くの学びが生まれると思います。

学生の声



尊敬する先輩からの紹介がきっかけで、参加を決めました。様々な社外との取組を通じて、受け入れ先会社だけでなく複数の企業を一度に知る機会となりました。**自分が想像していた何倍もの刺激、知識、経験を得られた**ため、当初予定していた期間を超えて受け入れを継続していただき、最終的に入社するまで至りました。